

令和2年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業
申請及び採択状況

	応募件数	採択	採択率
音楽	6	4	66.7%
舞踊	6	6	100.0%
演劇	18	14	77.8%
大衆芸能	2	2	100.0%
伝統芸能	13	7	53.8%
その他	10	8	80.0%
年鑑・調査研究	12	12	100.0%
合計	67	53	79.1%

令和2年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 採択団体一覧

* 新型コロナウイルス感染防止対策等の理由により各事業内容やスケジュールに関して今後変更されることがあります。

通番	分野	団体名	事業名	事業概要
1	音楽	公益財団法人新国立劇場運営財団	オペラを活用した総合的人材育成公演 新国立劇場オペラ研修所 ①試演会、②修了公演（いずれも演目未定）	【概要】新国立劇場における3年間の総合的なカリキュラムにより、プロフェッショナルなオペラ歌手へと育成。演出、デザイン、舞台監督等のスタッフを総合的に育成するための有料公演を実施。 ①試演会 8月8日～10日（3回） ②修了公演 令和3年3月5日～3月7日（3回） 【対象者】研修生及び修了生、若手公演スタッフ
2	音楽	学校法人東成学園（昭和音楽大学）	日本のオペラ作品をつくる～オペラ創作人材育成事業	【概要】令和元年度までの育成事業にて選出された作曲家と台本作家のペアが創作した日本語オリジナルオペラを演奏会形式で発表する。また、演奏会の準備と並行して韓国から講師を招聘し、ワークショップ及び公開講座を開催する。 ①選出作品演奏会 11月13日 ②公開講座・ワークショップ 6月～令和3年2月 【対象者】令和元年度育成対象者（作曲家、台本作家）、音楽・演劇関係の若手人材
3	音楽	公益社団法人日本演奏連盟	新進演奏家育成プロジェクト ①リサイタル・シリーズ（札幌・東京・名古屋・京都・大阪・大分） ②オーケストラ・シリーズ（札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・福岡） ③公開マスタークラス	【概要】若手演奏家の育成を目的に、才能の発掘と演奏の場を提供する。 ①全国6都市におけるリサイタル・シリーズ 7月～令和3年2月（20回） ②全国6都市におけるオーケストラ・シリーズ 12月～令和3年3月（6回） ③トップクラスの演奏家を招いた公開マスタークラス 11月13日/11月18日/12月17日 【対象者】若手演奏家
4	音楽	公益社団法人日本オーケストラ連盟	明日を担う音楽家たち2020～文化庁在外研修の成果～	【概要】新進芸術家海外研修を修了した者の中から特に優れた新進音楽家を世に紹介することを目的に「明日を担う音楽家たち2020」を開催する。独奏者は、過去5年間程度の期間で留学・研鑽を積んだ者から、現状での活躍、将来性を勘案し、文化庁と協議して決定する。 ○演奏会 2020年12月 【対象者】文化庁新進芸術家海外研修制度研修修了者（音楽）
5	舞踊	キャメルアーツ株式会社	舞踊家育成公演及び舞踊ワークショップ&野外公演	【概要】世界に通用する舞踊の振付・演出家と高い技術を持つ舞踊家を育成することを目的とした舞踊家育成公演及び、芸術分野の枠を超えた人材を育成することを目的とした舞踊ワークショップ&野外公演を実施。 ①舞踊家育成公演（8回）6月15日～21日 ②舞踊ワークショップ&野外公演 7月24日～8月2日（公演8月1日） 【対象者】舞踊の振付・演出家、舞踊家
6	舞踊	一般社団法人現代舞踊協会	現代舞踊新進芸術家育成Project	【概要】現代舞踊家へ作品発表やプロデュース・マネジメントの場を提供し、豊かな感性・優れた身体性をもつダンサー、独自性・芸術性を有する創作ができる振付家の育成を図る。 ①現代舞踊フェスティバル ②選抜新人舞踊公演 ③2019時代を創る現代舞踊公演 ④新進舞踊家海外研修員による現代舞踊公演 ⑤劇場外での実践と地域へのコミットメント（アウトリーチ） 【対象者】現代舞踊家（振付家、ダンサー）
7	舞踊	特定非営利活動法人 ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク（JCND）	コンテンポラリーダンス・プラットフォームを活用した振付家育成事業「ダンスでいこう!!」2020	【概要】13の各プラットフォーム毎に異なるニーズや課題に対し「教授等の機会の提供」「マネジメント能力の向上」「国際性の獲得」「社会性の獲得」「地域内の人材交流」「他分野人材との交流」を主な目的として事業を行い、国内のコンテンポラリーダンスの振付家を多方向から育成する。 【対象者】振付家
8	舞踊	公益財団法人新国立劇場運営財団	①バレエ・アステラス・ガラ、②エトワールへの道程2021	【概要】①海外で活躍しながら日本の公演に出演する機会の少ない日本人ダンサーにその機会を提供し、新国立劇場バレエ研修所研修生等も参加するバレエ公演。②バレエ研修生の修了時公演（研修生成果の発表） ①バレエ・アステラス 9月12日～13日（2回） ②エトワールへの道程 令和3年3月20日～21日（2回） 【対象者】海外で活躍する若手ダンサー、研修生及び修了生等
9	舞踊	公益社団法人日本バレエ協会	新進バレエ芸術家育成支援事業	【概要】バレエ芸術家が活動できる機会を提供することで、人材の技能・作品の質的向上、国際的評価に耐えうる新進バレエ芸術家の育成を促す。またバレエ環境の改善を目的とする。 ①全国合同バレエのタペ 8月26日 ②全日本バレエ・コンクール・ガラ 8月15日～16日 ③Balletクレーション 11月7日 【対象者】バレエ振付家、若手舞踊家
10	舞踊	一般社団法人日本バレエ団連盟	新進バレエダンサー・バレエ団運営スタッフの育成、並びに次世代の観客育成に向けた調査	【概要】海外優秀指導者による新進バレエダンサーの育成及びバレエ団マネジメントスタッフの人材育成、次世代の観客育成に向けた調査を行う。 ①マスタークラス（公開レッスンも実施）年3回 ②バレエ団運営スタッフ育成セミナー 9月、11月、1月 ③次世代の観客育成に向けた調査 5月～令和3年2月 【対象者】日本バレエ団連盟に加盟するバレエ団員、付属研修所研修生、運営スタッフ等
11	演劇	特定非営利活動法人愛知人形劇センター	P新人賞2020	【概要】人形劇分野の新たな人材の発掘と人形劇創造を目指す若手芸術家の育成を目的としたコンクールを開催。 一般公募 7～9月中旬 第一次選考会 10月 上演団体実技指導 12月～令和3年2月上旬 音響家・照明家技術講習会・最終選考上演会 令和3年2月19日～21日 【対象者】人形劇家（年齢、経験、国籍、アマ・プロを問わず）舞台音響家・照明家

令和2年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 採択団体一覧

* 新型コロナウイルス感染防止対策等の理由により各事業内容やスケジュールに関して今後変更されることがあります。

通番	分野	団体名	事業名	事業概要
12	演劇	一般社団法人江原河畔劇場	世界をめざす劇場芸術家養成事業—第21回 演劇人コンクール	【概要】劇場文化と舞台芸術を担う時代の才能を発掘・支援し、作品創造に携わる演出家のみならず、作品を創造する集団や俳優、スタッフなどすべての能力向上を図り、芸術としての舞台芸術の発展に寄与することを目的とするコンクールを実施する。また参加者のうち優れた成果を上げたものを対象に研修を実施する。 上審査時期：10月16日～18日 【対象者】舞台創造分野での舞台芸術家（8グループ64名程度）
13	演劇	公益社団法人国際演劇協会日本センター	次代の翻訳者育成セミナー（ワールド・シアター・ラボ）	【概要】海外の戯曲や若い世代によって作られた現代的な戯曲を新進の翻訳者が翻訳し、リーディング上演を行う。あわせてワークショップやレクチャーを実施する。 ①ワークショップ、公開稽古、レクチャー 令和3年1月23日～2月7日 ②リーディング上演、シンポジウム 令和3年2月8日～14日 【対象者】翻訳家、演出家、俳優
14	演劇	一般社団法人国際児童青少年舞台芸術協会日本センター	世界に通用する児童・青少年演劇アーティストを育成する連続講座	【概要】グローバル社会における子どもたちの生きる力、特に非認知能力とされる表現力や感性を育み、国際社会に通用する児童・青少年のための舞台芸術分野におけるアーティストの育成を図る。世界各地の講師による実践的な講座やワークショップを実施する。 ワークショップ 令和3年3月20日～31日 【対象者】児童・青少年演劇に関わる人、芸術教育関係者、学校教育関係者等
15	演劇	公益財団法人新国立劇場運営財団	新国立劇場演劇研修所公演 ①第14期生試演会、②第14期生修了公演（いずれも演目未定）	【概要】新国立劇場演劇研修所生の研鑽の成果を発表する実践の場を提供し、プロフェッショナル演劇俳優としての自覚を養うとともに、次代を担い、日本の演劇界を支えていく俳優を育成する。 ①試演会 10月27日～11月1日（6回） ②修了公演 令和3年2月19日～24日（6回） 【対象者】演劇研修所研修生及び修了生
16	演劇	一般社団法人全国専門人形劇団協議会	専門人形劇演技者育成講座2021「フィリップ・ジャンティ・カンパニーによるワークショップ」	【概要】人形劇の発展をけん引している講師による講座を開催することで、次代の人形劇分野を形成する優秀な人材を育成する。大阪・東京・名古屋で開催 大阪講座 令和3年2月12日～14日 東京講座 令和3年2月17日～19日 名古屋講座 令和3年2月22日～24日 【対象者】経験5年～20年の現役専門人形劇演技者
17	演劇	学校法人多摩美術大学	新進演劇人育成事業・演劇系大学と演劇界を繋いだ新進演劇人による柴幸男作品企画上演・関連ワークショップ、シンポジウム	【概要】大学発信の企画上演により、双方の豊かな関係性の構築を目指し、大学における演劇教育と演劇界の現場との繋がりの深化と一層の促進による創造性豊かな新進芸術家の育成を目的とする。 上演企画・シンポジウム 9月11日～13日 レクチャー・ワークショップ 5月～7月 【育成対象者】35歳以下の演劇人等
18	演劇	社会福祉法人トット基金日本ろう者劇団	次代を担うろう者の新進芸術家育成事業2020	【概要】手話狂言の次代を担う演者の発掘と育成及び手話弁士の育成、ろう者のアーティストの育成を目的に、学びの場を提供し、表現者としてのレベルアップをはかる。また、ろう児対象の演劇ワークショップ及びろう者対象の演劇スタッフワーク基礎講座を実施する。 ワークショップ 5月～2020年2月 演劇スタッフワーク基礎講座 9月～12月 【対象者】ろう者のアーティスト（手話狂言、手話弁士）
19	演劇	一般社団法人日韓演劇交流センター	韓国現代戯曲ドラマリーディングX	【概要】日韓の演劇交流を促進し、新進芸術家が作品創造の実践的な技術を磨くため、両国で隔年開催しており、日本での開催となる今年度は、5つの作品を翻訳し、3作品をリーディング上演する。 リーディング上演 令和3年1月18日～24日 【育成対象者】翻訳家、演出家、俳優
20	演劇	一般社団法人日本演出者協会	【次代の若手演出家育成事業】 ①演出家・俳優養成セミナー2020 演劇大学 ②国際演劇交流セミナー2020 ③日本の戯曲研修セミナー2020 ④若手演出家コンクール2020	【概要】日本各地にて演劇文化を深め拡げるため、セミナー等を開催する。 ①演劇大学（徳島7月～8月、島根9月～10月、秋田1月、大阪2月） ②国際演劇交流セミナー 東京開催（香港9月、韓国11月） ③日本の戯曲研修セミナー（東京8月～9月、福岡11～12月、大阪1月、名古屋1月） ④若手演出家コンクール（3月）、コンクール記念公演3月 【対象者】若手演出家、俳優
21	演劇	一般社団法人日本劇作家協会	次代を担う劇作家を育成するためのプロジェクト	【概要】次代を担う新進の劇作家を育成するために、講座とドラマリーディングを連動させた総合的で実践的な事業を実施。東京、神奈川、大阪、九州、東北にて定期的なドラマリーディングのワークショップ、東京、大阪にてドラマリーディング発表会・研究会の開催ほか、個別指導の「研修課」、公開講座、「セリフの読み方」ワークショップを実施 通年 【対象者】新進劇作家
22	演劇	公益社団法人日本劇団協議会	日本の演劇人を育てるプロジェクト	【概要】芸術団体単独では企画の実現が難しい公演やワークショップを実施することにより、新進気鋭の演劇人にスキルアップの機会を提供し、演劇界を担う人材を育成する。『「日本の劇」戯曲賞 10月』『海外研修（文化庁新進芸術家海外研修制度）の成果公演 令和3年2月』『新進演劇人育成公演 8月、10月、令和3年2月』『新進演劇人育成講座 5月～令和3年2月』『演劇人交流育成公演 通年』 【対象者】将来有望な劇作家、演出家、俳優

令和2年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 採択団体一覧

* 新型コロナウイルス感染防止対策等の理由により各事業内容やスケジュールに関して今後変更されることがあります。

通番	分野	団体名	事業名	事業概要
23	演劇	公益社団法人日本児童青少年演劇協会	児童青少年演劇「新進芸術家育成公演」	【概要】ホールでの公演の機会を提供、また意欲的な新作を公演することで、新進俳優、劇作家・演出家の育成を図る。(児童青少年演劇団体の中から2劇団を選定。) ①劇団たんぼぼ『ベッカニコおに』 5月15日～16日 ②劇団うりんこ『こだぬきコロッケ』 12月19日～26日 【対象者】劇団たんぼぼ新進俳優4名、劇団うりんこ新進俳優3名・演出家1名
24	演劇	日本児童・青少年演劇劇団協同組合	次代の児童・青少年演劇人育成 連続講座	【概要】次代の児童・青少年演劇実践者を育成するための講座を全国各地で全13プログラム実施する。・脳科学から学ぶ子どものための舞台芸術 ・ベイビーシアターの普及『K U U K I』の上演 ・ゲキミテトーク ・旅する学校 in 関西「コミュニケーション教育の現場に行くために」など 【対象者】児童・青少年演劇に関わる演劇人又は興味のある人など
25	大衆芸能	公益社団法人日本奇術協会	奇術の登竜門	【概要】若手マジシャンが奇術の知識や技能を研鑽することは勿論のこと、一流の奇術師の振るまいを学ぶことができる公演を運営する。他業種の芸芸実演家(落語、漫才、曲芸等)も交えたバラエティに富んだ公演内容を目指す。 育成公演 6月、8月、9月、11月 【育成対象者】協会入会后10～20年の中堅奇術家
26	大衆芸能	公益社団法人落語芸術協会	若手落語家育成公演	【概要】大衆芸能の素晴らしさを未来永劫伝えていける、魅力的かつ創造性豊かな人材を育成する。 お江戸日本橋亭49公演、東村山土曜寄席5公演、羽村村とろぎホール4公演、児童対象公演(横浜にぎわい座7公演、浅草芸芸ホール7公演、宮城県利府町内の学校3公演、広島福山地区3公演)、若手県宮古市2公演、九州地区～広島福山地区6公演、広島福山地区2公演、東西交流落語会1公演 【対象者】若手落語家
27	伝統芸能	公益財団法人江戸糸あやつり人形 結城座	人形と俳優のクロスオーバー I	【概要】今までにない新しい世界を創造し「古典の人形演劇」を次世代へ継ぎ、江戸糸あやつり人形の将来を担う、創造性豊かな活動を支える人材の育成を目的とする。年間を通じて講義を実施し、最後に試演会を実施する。 試演会 令和3年1月～3月 【対象者】「古典の人形演劇」及び江戸糸あやつり人形演劇に興味を持ち、プロを目指す人材
28	伝統芸能	当道音楽保存会	平家(平家琵琶)演奏家育成のための研修と廃絶曲の復元、および成果発表演奏会	【概要】若い有能な音楽家(箏曲家、地歌演奏家等)に、平家琵琶の演奏能力を習得させ、平家の魅力を表現できる演奏家を育成することを目的とし、研修、廃絶曲の復元、成果発表演奏会を実施する。 ①研修 通年 ②廃絶曲の復元 通年 ③成果発表演奏会 7月～9月 【対象者】若手演奏家
29	伝統芸能	特定非営利活動法人日本音楽集団	日本音楽集団 夏期講習会 '2020'	【概要】全国で活動する邦楽演奏者・演奏家を目指す若手、また教育者に向け、邦楽アンサンブルを習得する機会を提供する。 講習会 8月13日～14日 東京 【対象者】全国の邦楽演奏者(プロ、アマ、経験年数不問) 各日35名程度
30	伝統芸能	公益社団法人日本三曲協会	三曲新進演奏家研修支援事業	【概要】三曲、即ち歌唱を伴う箏・三絃と尺八による伝統音楽の継承・発展を目的とし、将来を担う若手演奏家が流派や社中の枠を超えて自主的に研修する機会の提供を支援する。また、研修の成果を発表する機会を提供する。 ①研修 通年 ②成果発表会 12月 東京 【対象者】箏・三絃・尺八の演奏家
31	伝統芸能	公益社団法人日本舞踊協会	令和3年各流派合同新春舞踊大会	【概要】新進の日本舞踊家を対象に、コンクール形式の舞踊大会を開催する。日頃の研鑽の成果を流派を超えて競い合い、発表する機会を設けることで、日本舞踊界全体の活性化につながる役割を果たしている。 舞踊大会 令和3年1月9日～10日 東京 【対象者】50歳以下で、名取の資格を有する協会所属の日本舞踊家40名程度
32	伝統芸能	公益財団法人日本民謡協会	少年少女・青年層に対する民謡・民舞育成事業	【概要】民謡民舞の演奏家を育成するため、演奏発表の機会等を提供する。 ①少年少女全国大会 8月8日～9日 対象：幼児から中学生、模範演奏者 ②少年少女講習会 通年(月1回) 対象：幼児から中学生 ③青年講習会 通年(月1回) 対象：高校生から30歳程度 ④少年少女地区大会育成指導 通年 対象：幼児から中学生 ⑤民謡SONIC 2020年2月～3月 対象高校生以上 【対象者】上記年齢層の唄い手、踊り手、演奏家
33	伝統芸能	公益社団法人能楽協会	若鯨研究発表会「若鯨能」	【概要】次世代を担う若手能楽師の技芸向上及びプロの舞台に出演できる能楽師を多く誕生させることを目的とし、ベテラン能楽師を講師とした合同稽古及び発表の場の機会を提供する。 ①合同稽古 4月～6月 ②公演 6月 【対象者】能楽協会名古屋支部所属を中心とした若手能楽師及び会員の子弟

令和2年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 採択団体一覧

* 新型コロナウイルス感染症防止対策等の理由により各事業内容やスケジュールに関して今後変更されることがあります。

通番	分野	団体名	事業名	事業概要
34	その他	特定非営利活動法人映画美術学校	映画・演劇を横断し活躍する俳優養成講座2020～演技を通じた新しいクリエイター創出を目的とする～	【概要】「映画と演劇」の表現の違いを俳優たちに意識させながら、双方の表現における演技の違いを体系的に理解させ、映画と演劇を往還できる新時代の俳優の育成を目的として、①「カメラに写し取られた」演技の考察と実践のワークショップ、②第一線の映画監督と舞台演出家による演技の指導、様々な演出家の元で経験を積み海外でも活躍する俳優による演技の指導等を連携して実施。①5～9月（講義12回）②9月～令和3年3月（講義80回程度） 【対象者】①昨年度本事業修了生 ②18歳以上（職業・経験年数不問）
35	その他	一般社団法人コミュニティシネマセンター	映像アートマネージャー育成のためのワークショップシリーズ2020	【概要】映画映像を軸に、地域の文化事業を担う人材を育成することを目的に、シンポジウム「全国コミュニティシネマ会議」（9月）や、「上映者のためのワークショップ」、フィルムでの上映環境を保持するための情報提供やネットワークづくりを目的とした「Fシネマ・プロジェクト」、子どもを対象とする上映会「子どもと映画プログラム」の4プログラムを実施。 【対象者】地域の映画映像事業に携わる人材、若手スタッフ等
36	その他	協同組合日本映画・テレビ美術監督協会	明日を拓く映画美術スタッフ育成プログラム2020「映画美術スタッフ塾」	【概要】「映画美術スタッフ塾」では、実践的な育成教育として、短編シナリオの読了、登場人物の多面的な分析、セットデザインの作成、大道具技法の実習体験、装飾・小道具品の飾り実習、セットのVTR撮影などを実施する。また、優秀な受講生（卒業生）は美術監督担当作品に研修者として参加する。 【対象者】映像関係を学ぶ大学生、専門学校生、社会人（経験年数不問）
37	その他	公益社団法人日本芸能実演家団体協議会	実演芸術連携交流事業	【概要】ジャンル、地域、職域を超えた人材交流の機会を作り出し、専門性を高めるとともに、実演芸術分野全体をとらえる広い視野を持つ人材を育成することを目指す。 ①国内専門家フェローシップ制度 通年 ②実演芸術連携フォーラム 東京、大阪 ③専門人材向け講座 【対象者】全国のアートマネジメント等実務者、又はそれらを志す者
38	その他	公益社団法人日本照明家協会	舞台・テレビジョンのための新進照明家育成公開講座（中央講座）	【概要】「創造と技術」をテーマに「深い知識・教養」と「高い技術」を追求する人材育成を目的とし、高度な技術を持つ上級者のための「中央講座」を実施する。10月頃から受講者募集開始。北海道・東北・東京・関西地域の4か所を予定。各会場で連続3日間、1日4～5コマ、1コマ90分、計12コマ。 【対象者】照明技術者技能検定2級を取得後3年以上または照明実務経験5年以上の照明家ので特に優れた者（各会場10～20人程度を公募）
39	その他	学校法人日本大学	大学連携による映画人育成のための上映会 S.T.E.P.	【概要】映画教育を行っている14大学が会した全国映画教育協議会が中心となり、映画関連団体などと連携して若手映画人の作品を一般映画館で公開する。プロの講師による講評会、観客によるアンケート等による作品の評価を通じて若手映画人のステップアップを促すとともに、優れた若手映画人を世に送り出すことに寄与する。 【対象者】全国映画教育協議会参加校を中心とする学生及び卒業生、映画祭などの受賞作品の制作関係者で経験年数10年以内の者
40	その他	公益社団法人日本舞台音響家協会	舞台音響家のための公開講座	【概要】舞台音響技術の向上を目的に、初期教育としての「基礎コース」（1回実施、1日）、高度な教育としての「技術コース」（1回実施、3日）、演劇音響分野における専門家育成としての「演劇コース」（2会場で各1回、各2日）、1つの研究テーマを設けて掘り下げていく「研究コース」（1回実施、1日）の4つの講座を実施。公共の劇場もしくは教育機関が所有する収容人数300～700名程度のホールを予定。 【対象者】舞台音響家を目指す学生、舞台音響作業経験者及び一般
41	その他	一般社団法人舞台技術者連合	舞台技術者のための横断的総合研修「基礎」「中級」「上級」	【概要】専門的人材の育成・確保及び資質の向上のため、基礎知識を扱う「基礎」、舞台技術専門員を養成する「中級」、高度な知見や総括能力を有した舞台技術上級専門員を育成する「上級」の3段階の総合研修を実施 ①「基礎」 7月 3講義 島根 ②「中級」 7月 3講義 宮城、福岡 ③「上級」 令和3年2月の連続した2日間、7講義 東京 【対象者】舞台技術者・会館職員・劇場及び舞台関係者全般
42	年鑑・調査研究	一般社団法人アート東京	日本のアート産業市場規模の推計に係る調査2020	【概要】アート関連事業に関わる者が役立つことができる基礎情報となることを目指し、日本のアート産業市場に焦点を当て、関連データを整備し、調査結果をレポートと併せ分かりやすく可視化し、国内外に広く発信する。主にインターネットアンケートにより、日本のアート市場規模の数値を推計する。 【作製：25000部】
43	年鑑・調査研究	公益社団法人企業メセナ協議会	民間のメセナ活動および国内外の芸術・文化振興に関する調査研究	【概要】日本の企業メセナの実態を継続的に調査、現代の社会創造に貢献する企業メセナを把握し「Mecent Report 2020」にまとめ、国内外へ発信する。また「メセナアソシエイト」、「協議会アソシエイト」、「メセナライター」事業において、外部の若手研究者や、アートマネージャー、民間企業人等を募り、芸術文化の専門的知識のみならず、企業からの視点を持つ人材を育成するとともに、事例研究、レポートはWEB上で公開する。 【作製：2000部】
44	年鑑・調査研究	一般社団法人現代舞踊協会	舞踊公演アーカイブ事業《舞踊年鑑2020と舞踊公演データベース》	【概要】舞踊家のみならず研究者やマスコミ等の利用に供することを目的に、年間における我が国の舞踊分野の舞台活動について可能な限り正確な公演情報を収集・調査・整理し、データベース化してWEB上で公開するとともに、「舞踊年鑑2019」を発行する。 【作製：1000部】

令和2年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 採択団体一覧

* 新型コロナウイルス感染防止対策等の理由により各事業内容やスケジュールに関して今後変更されることがあります。

通番	分野	団体名	事業名	事業概要
45	年鑑・調査研究	公益社団法人国際演劇協会日本センター	「国際演劇年鑑（日本編・海外編）」の編集と発行	【概要】日本と海外との演劇交流を促進するための知識基盤を形成するとともに、現場の演劇交流の多様なチャンネルを確保し拡大するために、「日本編」と「海外編」二冊で「国際演劇年鑑」を発行する。「日本編」では日本の演劇状況をジャンルごと（10ジャンル）に英語で紹介し、「海外編」では海外各国・地域（20～25か国前後）の読者に対して紹介する。WEBでもカラーPDFを公開。また海外戯曲を紹介する特集企画「紛争地域から生まれた演劇」等のテーマに沿った戯曲集を別冊で発行する。【作製：日本編1,000部、海外編1050部、戯曲集600部】
46	年鑑・調査研究	特定非営利活動法人国際人形劇連盟日本センター	「'20 日本の人形劇」の発行	【概要】全国の人形劇団、伝統人形劇伝承団体、人形劇関連団体約200団体からの情報をもとに、日本全国の伝統人形劇、現代人形劇の1年間の活動状況を詳細に記録し、「'20日本の人形劇」を発行し、WEB上でも公開する。また人形劇創造を目指す若手芸術家の育成に資することを目的に、ウニマ（国際人形劇連盟）の協力により、主にヨーロッパを中心とした国々の人形劇事情を提供する。【作製：650部】
47	年鑑・調査研究	一般社団法人コミュニティシネマセンター	「映画上映活動年鑑2020」の作成	【概要】映画の「興行」（及び配給）の動向に関する既存のデータや情報を活用しながら、これに映画祭や公共ホールでの上映等（公共上映）の新しいデータを加えて、より幅広い視点から地域における映画の「上映」をとらえ、データを収集し、2020年の映画上映の状況を分析し「映画上映活動年鑑2020」を作成するとともに、WEB上でも主要部分を公開する。【作製：400部】
48	年鑑・調査研究	学校法人東成学園（昭和音楽大学）	『日本のオペラ年鑑2019』編集・刊行事業	【概要】日本のオペラ界の状況の総合的な把握を可能にすることを目的に、2019年一年間に行われた我が国のオペラ公演に関する定量的な分析、主要な公演を概観する記事とともに、時事的な問題あるいは我が国のオペラ界が抱える課題に関する特集記事を掲載した『日本のオペラ年鑑2019』を編集・刊行する。また、公演情報を中心にWEBで公開する。【作製：1500部】
49	年鑑・調査研究	公益社団法人日本演劇協会	「演劇年鑑」の作成	【概要】情報基盤を築き、演劇文化振興及び演劇人育成に資することを目的に、年間に上演される演劇作品の公演情報を通年収集し、整理、記録し、それらを刊行物として関係各方面に配布するとともに、WEB上でも公開する。【作製：530部】
50	年鑑・調査研究	公益社団法人日本演奏連盟	演奏年鑑2021 — 音楽資料（通巻第47号）	【概要】我が国のクラシック音楽界の動向を研究するとともに最新の音楽資料の収集、後世に残る貴重な資料に資するため、全国各地の音楽ホールで開催されているクラシックの演奏会を調査、記録し、数値データに表すほか、コンクールや講習会、奨学金制度、音楽関係者名簿等の情報も掲載する。WEB上での公開も積極的に進める。【作製：1500部】
51	年鑑・調査研究	公益社団法人日本オーケストラ連盟	日本のプロフェッショナル・オーケストラ年鑑2020	【概要】文化芸術活動に携わる者が今後の日本の文化の方向性を研究する際に役立ち、オーケストラの課題を把握することを目指し、各年度ごとの各オーケストラ活動の状況、経営の状態などが多角的に記載された年鑑を編集・刊行する。また年鑑の情報を日本オーケストラ連盟ホームページ上で公開する。【作製：3000部】
52	年鑑・調査研究	一般社団法人日本劇作家協会	現代日本の劇作（英語）	【概要】日本の現代戯曲を英語に翻訳して海外で紹介（国内外の劇場や演劇関係者などに配布）し、海外での日本現代劇の上演といった、演劇の国際交流のより深い可能性を生み出し、ひいては日本の現代の芸術文化の生き生きとした動きを海外に伝えることに寄与する。（翻訳作品は3作品を選定）【作製：300部】
53	年鑑・調査研究	協同組合日本シナリオ作家協会	'19年鑑代表シナリオ集（2020年発行）	【概要】シナリオ作家、映画監督、プロデューサー、撮影監督、美術監督、録音、編集、照明、スクリーンライター、俳優など映画製作に携わろうとするすべての新進映画人を育成することを目的に、前年を代表する優れた邦画のシナリオを10篇程度収録する「年鑑代表シナリオ集」を出版する。【作製：200部】

令和2年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 協力者会議委員一覧

音楽分野	舞踊分野	演劇分野	大衆芸能分野・ 伝統芸能分野
伊東 信宏	小野 晋司	小笠原 響	飯島 満
中村 孝義	楫屋 一之	酒井 誠	鈴木 英一
中村 真理	菊丸 喜美子	嶋村 浩康	長井 好弘
野川 美穂子	桜井 多佳子	林 尚之	畑 律江
野平 一郎	村山 久美子	久野 敦子	古川 綾子
その他分野	年鑑・調査研究分野		
五十嵐 卓	池田 恵巳		
井上 桂	樽松 三郎		
川村 健一郎	長井 好弘		
杉浦 幸子	法月 敏彦		
間瀬 勝一	本郷 寛		

(五十音順・敬称略)